

1 『巫女の少女のお役目は、おま〇こで穢れを浄化することです』

2 ASMR 脚本

3 4 5 ◆登場人物

6
7 ・花依（はなよ）

8
9 ・巫女の少女

10 ・年端もいかぬ少女だが、落ち着いており、大人びた表情を見せる。

11 少々古風で間延びした言葉遣いが特徴。一人称は「花依（はなよ）」

12 ・神社を訪れた主人公に突然声をかけ、主人公の穢れを清めるため、体を張ってお祓いの儀式を行う。

13 ・「お祓い」に関して天賦の才を持っており、経験豊富。若い身体と

14 磨いたテクニクを駆使して、日々も男性から「穢れ」を搾り取っているが、

15 主人公の肉棒の大きさに驚き、密かに興奮している。

16
17

18		
19		
20		
21		「お祓いの方法
22		
23		場所：神社の境内・夕
24		
25		SE：カラスの鳴き声
26		
27		・花依、背後から主人公に声をかける。
28		
29	⑫遠	「そこの方へ」
30		
31		・主人公、声がした方を向く
32		
33	⑥遠	「そう、あなたです」
34		
35		・花依が近づいてくる。
36		SE：下駄の足音（近ぐき）
37		
38	⑥中	「お祓いに参られたのですか？」
39		
40		・主人公、驚き。
41		・間
42		
43		「見ればわかりますよ。花依にはお見通しなのです」
44		
45		「あなたは：相当穢れが溜まっていますから。全身にこびりついて：
46		日常生活にも悪影響が出ているのでは？」
47		
48		・主人公、花依の言葉に同意
49		・間
50		
51		「やはりそうでしたかへ」
52		
53		「ですがご安心ください。この場所はあるあなたのような方が多く訪れますが：
54		皆、穢れを払って帰っていきますから」
55		
56		「では、少しだけ歩きますが：ついてきてください」
57		
58		・主人公、花依の後ろをついて離れにある祈禱所へ。
59		SE：2人の足音（片方下駄・片方靴） ※以下継続

60		
61	⑧近	「この神社では、ご相談に来た方についた穢れに応じて、
62		お祓いの儀式を変えておりまして…」
63		
64		「あなたの場合ですと、巫女…つまり花依と契りを結ぶことで、
65		穢れを祓う方法が1番かと思います」
66		
67		「具体的にはあなたの肉棒を、巫女の神聖な肉壺へと挿し込み
68		穢れと共に精を吐き出していただく…という方法になりますね」
69		
70		・主人公、驚き
71		・間
72		
73		「ご安心ください。どなたもやられていることです。
74		それともあなたは、花依のような少女には、興奮しないですか？」
75		
76		・間
77		
78		「ふふ、そのようなことは、無いようですね…この通り…」
79		
80		・花依、ズボンの上から主人公の股間に手を触れ
81	⑥中	SE：衣擦れの音（サワサワ）
82		
83	⑧近	「あなたの肉棒は、すでに膨れ上がっているようですし…くすくす…」
84		
85		SE：2人の足音（片方下駄・片方靴） ※終了
86		
87		「はい、つきました。続きは中でいたしましょう。お履物を脱いでください」
88		
89	⑥中	SE：主人公・靴を脱ぐ音
90		
91		・花依、主人公に先行して前を進む。
92		SE：花依、木製の階段を登る音（トントントン）
93		
94		場所：祈祷所・夕
95		
96		SE：ぐすまを開ける音
97		
98	⑦中	「どうぞ～お入りください～」
99		
100		・主人公、花依の指示に従い、階段を登り部屋へと入る。
101	⑥中	SE：主人公、木製の階段を登る音（トン、トン、トン）※花依よりゆっくり

⑫中

SE：ふすまを閉める音

「こちらがお祓いの儀式を行う場所となります。そこにある布団の上に、おかけください」

・主人公、花依の指示に従い、布団の上に腰掛ける。

SE：主人公・足音（畳の上を歩く音）

SE：衣擦れの音

・間

・花依、主人公の前まで移動

SE：花依・足音（畳の上を歩く音）

⑥近

「いは、早速はじめましょう」

・花依、可愛らしく主人公を押し倒す。

「えいっ！」

SE：布団の上に倒れ込む音

・花依、主人公に馬乗り。

SE：衣擦れの音

・花依、主人公のズボンを脱がせ、性器を露出させる。

SE：衣擦れの音（サワサワ）

SE：ベルトを外す音

SE：チャックを降ろす音

SE：ズボンを脱がせる音（ズルズル）

SE：パンツを脱がせる音（スルスル）

・間

「あら…まあ…これは…」

「あっ！ 失礼しました。

服の上で見るより…随分とご立派で…」

「ふふ、花依の準備もできていますから…
そろそろ…参りますね？」

144	
145	・花依、主人公にもたれかかりながら素股を開始。
146	
147	SE：衣擦れの音
148	SE：素股音（水音） ※継続
149	
150	⑥接
151	「んふっ…ふう…ふうう…はじめは…ふうう…、性器同士を擦らせて、
152	…ふうう…穢れが出やすく…ふうッ…ふう…なるように」
153	
154	・花依、腰を動かしながら深呼吸するように息継ぎ。
155	⑨接
156	「ふうー…すうー…はあ…ふうー…んー…ふうー…」
157	「ふう…ふう…はあ…んっ…
158	準備が整ったら、本来の用途に沿った形で使えますから」
159	
160	「もう少しだけ…ふうっ…我慢してください」
161	
162	
163	
164	③接
165	「ふう…ふう…ふう…ふう…はあ…ふっ、ふう…ふう…」
166	
167	「ふあっ…じんわり…んんっ…じんわりと熱が出てきましたね」
168	
169	「ふう…いいことですよ…んっ…
170	あなたの身体に溜まっていた穢れが、肉棒へと集まっている証拠です」
171	
172	「ふう…ふう…ふっ、ん…ふう…はあ…んっ、んっ、んんっ…ふっ…ふう…」
173	⑥接
174	
175	SE：素股音（水音） ※終了
176	
177	⑥近
178	「ふう…ふう…はあ…ふう…そろそろ本番の…挿入へと参りましょう」
179	
180	・花依、主人公の肉棒の先を、肉壺の入り口へとあてがう。
181	SE：水音（クチュ）
182	⑥中
183	
184	「んっ…では、参ります」
185	・花依、腰を落として挿入。 SE：挿入音

「んっ…ふううつ、ぐっ…はああ♡」

「ふう…ふう…はふう…んんっ…ご加減はいかがですか？
少々きついかもしれないですが、我慢してくださいね」

「…はあ…ふう…やはり想像以上です…」

「んっ…花依も儀式を完遂できるよう…頑張ります」

「はふう…すう…はあ…では、動きますよう？」

・花依、腰をゆっくり動かし始める。

SE:ピストン音・ゆっくり開始 ※以下継続

「んん…ふう、んっ、くっ、ふう…ふう…んんっ！ ふう…
少し動いただけでも…んん…」

「な、中をっ…ゾリゾリ…あっ…んっ、削ってきますね…
んんっ、く…ふう…んんっ、ふう…ふう…」

「んっ！ ふう…んふっ、んん…！」

「だ…大丈夫ですよ…あんっ、ひう…あふっ…
こ、これは…穢れが浄化されまいと、抵抗している証拠ですから」

「さあ、肉棒に意識を集中して…そして…んっ、
穢れを…あぐう…吐き出す想像を！」

「んんっ…もつと大きくなったあ♡ んんっ…くっ、はあ…はあ…
ふう、んんんっ…ううん」

・花依、快感で体勢を保てなくなりはじめる。

「ふうふうふう…んんふっ…ふう…！ ああ…ふうっ…！」

「んあっ…太いっ…穢れっ…いっぱいっ…あっんっ…」

「そうですっ…その調子…ふああっ…肉ひだへ擦り付けてっ…
擦り付けた分だけっ…ああっ♡」

「あんっ…穢れがっ…浄化されますからあ！

228 んっ、ふう…ふう…」

229 「快感に…んっ…身を任せて…ふっ…くう！ 欲望のままに…！
230 穢れをいっぱい…出してっ、いきましようっ…んんっ！」

231 「はあ…はあ…んっふ、ふうっ！ んんっ！ くっ…！
232 あっ…んあっ…ふう…うっ…んんっ！」

233 「はあ…はあ…ど、どうですか？ 身体の調子は？」
234

235 「あっはっ…はうう…ん…穢れは…取れ始めてます。
236 んっ…少しずっ、調子もおっ…あうっ…良くなってきたのでは…？」

237 ・主人公、身体に起きた変化を語る。
238 ・間

239 ・花依、主人公の方へと倒れ込み、満足そうに
240

241 SE：ピストン音・ゆっくり 終了
242

243 「そうでしょう。そうでしょう…」
244

245 「ですが…真の浄化はここからですからね…」
246

247 「ん…ふう…この儀式は…はあはあ…
248 あなたが…花依の膣内へ、精を放つことで、完遂するのですから
249 あふっ…んっ…んんっ…くふうっ…」

250 「今までよりも、消耗が大きくなりますが…
251 ちゃんと耐えて…穢れを祓い切りましようね…」

252 「では、いきますよ…」
253

254 ・花依、腰を動かすスピードをアップ。
255 SE：ピストン音・早め 開始

256 「ふっ！ ふっ！ んふっ！ ふっ！ んんっ！ ふうっ！」
257

258 「あっ…んっ…んんっ！ ふあっ…ふう…はあっ、この速度で絞りますからねえっ…」
259

260 「ふっ…んんっあっ…やっ…んう…んふっ…ああ、くっ、ああっ…」
261

262 「わっ…わかりますか？」
263
264
265
266
267
268
269

「今、んっ、あなたのが…どんどんって…
ふあっ…花依の子宮口…突いているのおっ…んんっ！」

「あうっ…これだけ、激しく…す、すればあっ…んんっ…」

「穢れも…あうんっ…ぜんぶっ…

吐き出せるっ…はず…ですっ！　んん、おっ…んうっ…ふうっ！」

「…っ！　んっ！　んんっ！　ふっ…ふうう…ふーっ…ふうーっ、すう…
んんっ！　はっ…ううっ！」

・主人公、限界が近づいてきたことを花依に伝える
・間

「はい…良いですよ…そろ、そろ…頃合いですっ！」

「花依のっ…一番奥にい…あなたの、穢れを…あああっ
吐き出してっ、んあああっ…くささいいいっ…！」

SE：ピストン音・激しめ　開始

「ほら、ほら、ほらっ！　出る、出る、出る…っ…！
放てゝ、放てゝ、放てゝ…放て放て放て♡」

「巫女の膣に…あふっ…ドロドロのせーし…
穢れと一緒に…んんっああっ…だ、出してえ」

・せーのの直後に、射精。

「せーのっ…んんんんんんんん…っ！」

SE：射精音

SE：ピストン音・激しめ　終了

・主人公の絶頂とほぼ同時に、花依も絶頂

「あふあっ…あっ、あっ…！」

この量は…想像以上っ…んっ…んんんっ…！」

「あふあっ…あうう、あっ、あっ、あっ…
あああああっ！」

⑨接

⑥接

312	
313	
314	・間
315	「はあ…はあ…はあ…はあ…はあ、はあ、はあ…ん…ふう…」
316	
317	「んんっ…あなたの溜まった穢れは…
318	ぜんぶ…すべて…浄化できましたっ！」
319	
320	・花依、眠そうに
321	SE：衣擦れの音
322	
323	⑨近
324	「花依もう…儀式を終えてくたくたでして…
325	…んっ…ふああ…」
326	・間
327	
328	「ふみゅ…ふう…もし劣情を催したのなら…
329	花依で…良ければ…お相手…ん…すう…すう…」
330	
331	・花依、寝息を立て始める。
332	
333	「むにゅっ…ごくろう…さま…」
334	
335	「すう…すう…すう…」
336	
337	・巫女の少女のお役目は、おま〇こで穢れを浄化することです END